

AIが人のペースで合奏

ヤマハは、人工知能（AI）と人間が楽器演奏で「共演」できる開発中のシステムを、二十七日二十九日に東京で開かれる展示イベント「デジタルコンテンツEXPO2017」に出展する。吹奏楽部が題材のアニメ作品「響け！ユーフォニアム」の世界観が楽しめるスマートフォンなど向けアプリの特別版で、人間の演奏ペースに合わせてAIが呼応するように伴奏するといい、新たな音楽表現の提案につながる。

ヤマハによると、実際の楽器演奏を読み込んで採点してくれ

ヤマハ、アプリ特別版

る提供中のアプリ「ふこうよアンサンブル」に、AIの合奏技術を実験的に追加。展示では、金管楽器のユーフォニアムとトランペットの二重奏のアニメ劇中曲について、来場者が片方の楽器で演奏すると、AIが奏者ごとのテンポやタイミングのずれといった「くせ」を割り出し、もう一方の楽器の音源で伴奏しつつコメントも寄せる。

同様の機能を、キーボードで「きらきら星」の旋律を弾くことでも体験できる。AIを取り入れたライブステージもあり、ピアノストやユーフォニアム奏

27日から「デジタルコンテンツEXPO」出展

者の生演奏に、自動演奏機能付きピアノやトランペットの音源をそれぞれ連動させて合奏する。

AIの合奏技術について「人間が音源に合わせるのとは逆転の発想で、より気持ち良く演奏できることを目指している。来場者の反応を参考に、将来の商品化につなげたい」と広報担当者。例えば、過去の著名な演奏家との共演を自宅で仮想的に楽しんだり、演奏会で足りない楽器のパートを補ったりといった活用を想定している。

イベントは東京都江東区の日本科学未来館であり、一般財団法人デジタルコンテンツ協会が主催。企業や大学が先端技術を発表する。（久下悠一郎）